

次期行政経営の方針の策定について

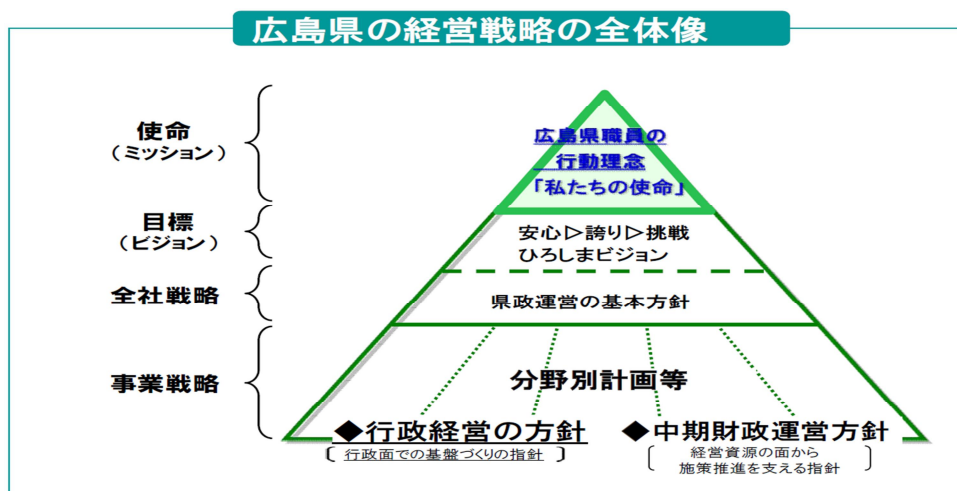
1 要旨・目的

本県では、令和2年度に現行の「行政経営の方針」を策定し、「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」の目指す姿の実現に向けて、成果獲得の志向を徹底した行政経営を行ってきた。

この「行政経営の方針」について、令和7年度末をもって取組期間が終了することを踏まえ、次のとおり、次期行政経営の方針を策定する。

【参考】現方針の位置付け

「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」に基づく一連の施策の推進を経営資源の面から支える「中期財政運営方針」と並んで、行政運営の面から支えるための指針として策定した。



2 次期方針の概要

(1) 基本的な考え方

本年度予定している「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」の改定を踏まえ、これに基づく取組を行政運営の面から引き続き支えるための方針とする。

(2) 取組期間

令和8年度～令和12年度（5年間）

(3) 方針策定に向けたスケジュール（予定）

次期方針は、これまでの主な取組・成果等を踏まえ「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」の残り5年間における行政運営の方向性を示すこととし、令和8年6月までの策定を目指す。

時 期	令和7年9月	10月	11月	12月	令和8年4月	6月
内 容	■次期方針の策定について（今回）				■素案（4月）	■方針策定（6月）

3 これまでの主な取組・成果等

社会経済情勢の変化に対応し、柔軟かつ迅速に機動的な組織運営を行うため、

- ・ 戦略的に施策を立案するとともに、施策に基づくオペレーションを的確に行う
- ・ 組織がそのミッションを果たす
- ・ 職員一人ひとりが高い専門性を発揮する

など、戦略、組織、資源配分、それぞれの取組を相互に関連させ一体的に行ってきた。

1 戦略的な施策マネジメント	2 成果獲得に向けた組織マネジメント	3 戦略的なリソースマネジメント
(1)戦略構築力の向上 (2)施策マネジメントの強化	(1)行動理念の理解、共有、実践の促進 (2)ミッション重視の組織体制の構築 (3)行政のデジタル化の加速等による業務プロセスの再構築	(1)職員の力を引き出す人材マネジメント (2)経営資源マネジメントの深化
成果獲得を目指した職務の遂行		

(1) 戦略的な施策マネジメント（施策マネジメントの強化）

主な取組	施策の実行力を高めるために、モニタリングから成果検証、評価、経営資源配分までを一気通貫で行う仕組みを構築。
主な成果	ワーク単位でのモニタリング等により、変化の兆しを把握し、計画や取組の見直し等を実施。
今後の課題	的確な現状・課題分析を土台とした試行と改善のサイクルの施策全体への定着に向けた取組を計画的に進める必要がある。

(2) 成果獲得に向けた組織マネジメント（行政サービス向上に向けた業務プロセス再構築）

主な取組	申請書類等における押印を原則として廃止(1,742手続)、主要行政手続(年間申請件数200件以上)のオンライン化、電子納付の実施(116手続)。
主な成果	行政手続のオンライン化により、多くの手続で申請から納付までいつでもどこでも手続ができる状態となり、手続における県民負担の軽減につながっている。
今後の課題	デジタルを前提とした業務プロセスや添付書類の在り方の最適化、プロセス改革によるフロー全体のデジタル化など、県民等及び職員がデジタル化の恩恵を実感できる質の追求への取組を更に加速させる必要がある。

(3) 戦略的なリソースマネジメント（専門人材の確保・育成に資する取組）

主な取組	・ 情報システム人材を県・市町で共同で採用・育成・活用する枠組みとして「DXShip ひろしま」を構築。 ・ 防災人材を県・市町で共同で確保・育成する枠組みとして「県・市町防災人材協議会」を設置。
主な成果	関係市町等と専門人材の確保・育成に係る仕組みの構築や検討が着実に進めることができています。
今後の課題	情報システム・防災以外の専門性が求められる分野についても、必要なスキル・経験等を明確化し、確保・育成に係る仕組みの構築や検討をする必要がある。

※詳細は別紙、「行政経営の方針」の振り返りのとおり